

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2020 年 6 月の経済報告】

令和 2 年 6 月 24 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

## 1. 全般動向

### ■ 景気動向指数 令和 2（2020）年 4 月分（速報）の概要 （内閣府、令和 2（2020）年 6 月 5 日発表 より抜粋）

- ① 4 月の CI（速報値・平成 27(2015)年=100）は、  
先行指数：76.2、一致指数：81.5、遅行指数：98.1 となった。

先行指数は、前月と比較して 8.9 ポイント下降し、2 か月連続の下降となった。  
3 か月後方移動平均は 4.80 ポイント下降し、2 か月連続の下降となった。  
7 か月後方移動平均は 2.30 ポイント下降し、23 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 7.3 ポイント下降し、3 か月連続の下降となった。  
3 か月後方移動平均は 4.27 ポイント下降し、7 か月連続の下降となった。  
7 か月後方移動平均は 2.58 ポイント下降し、18 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 2.7 ポイント下降し、4 か月連続の下降となった。  
3 か月後方移動平均は 1.40 ポイント下降し、8 か月連続の下降となった。  
7 か月後方移動平均は 0.84 ポイント下降し、9 か月連続の下降となった。

- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数（CI 一致指数）は、悪化を示している。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・景気動向指数「令和 2(2020)年 4 月分（速報）の概要」pdf へ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202004psummary.pdf>
- ・（ご参考）内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（6月）（内閣府、令和2年6月19日公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

#### <日本経済の基調判断>

（現状）

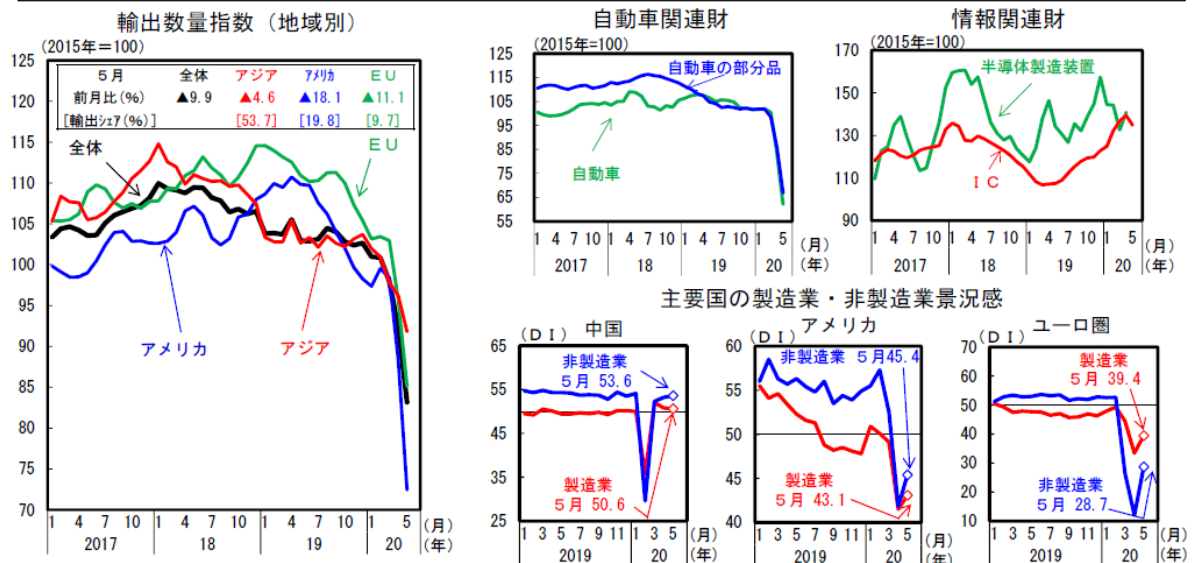
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

#### 今月の指標(1) 輸出

- 輸出は、海外需要の減少を背景として欧米向けを中心に急減。財別では自動車関連財が急落。
- 一方、情報関連財は、5G対応やデータセンター向けを中心にICが堅調。半導体製造装置も底堅く、これらの品目がアジア向け輸出を下支え。
- 海外の景況感は中国で3か月連続改善、米欧でも5月は上昇。ただし、感染症の第2波、第3波を含め世界全体で不確実性は高く、輸出の先行きを左右する海外経済の動向は引き続き注視。



（備考）1. 左図及び右図は、財務省「貿易統計（5月速報）」により作成。内閣府による季節調整値、3か月移動平均。自動車関連財と情報関連財は数量ベース。なお、半導体製造装置は、貿易統計速報では最新月の値が公表されないため、4月までの値。各シェアは2019年の金額シェア。なお、各品目の地域別シェアは（アジア、アメリカ、EUの順）、自動車は16.0%、35.8%、10.6%、自動車の部分品は41.5%、23.2%、13.2%、ICは93.3%、3.5%、2.7%、半導体製造装置は74.0%、22.0%、2.0%。  
2. 右図は、中国は国家統計局、アメリカは全米供給管理協会(ISM)、ユーロ圏は民間調査会社マークイットにより作成。購買担当者指数(PMI)。50を上回ると改善、下回ると悪化。中国の非製造業はサービス業及び建設業、アメリカの非製造業はサービス業及び建設業等、ユーロ圏の非製造業はサービス業。

詳細は以下より内閣府 月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料をご参照下さい。

（6月例経済報告資料 pdfへ）：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/06kaigi.pdf>

（ご参考）内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和2年4月実績：機械受注統計調査報告  
 (令和2年6月10日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年3月前月比3.0%増の後、4月は同8.3%減の2兆988億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比2.6%増の1兆41億円、官公需は同7.2%減の2,598億円、外需は同21.6%減の6,894億円、代理店は同8.9%減の1,053億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年3月前月比0.4%減の後、4月は同12.0%減の7,526億円となった。このうち、製造業は同2.6%減の3,342億円、非製造業（除く船舶・電力）は同20.2%減の4,063億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年 (平成31年) 4-6月 (実績)	2019年 (令和元年) 7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	2020年 (令和2年) 1-3月 (実績)	4-6月 (見通し)	2020年 (令和2年) 1月 (実績)	2月 (実績)	3月 (実績)	4月 (実績)
受注総額		-1.3	1.8	-5.4	3.9	-4.7	11.5	-6.9	3.0	-8.3
民需		6.3	0.1	-4.3	-5.1	2.8	-1.6	3.1	-3.9	2.6
〃 (除船電)		7.8	-4.7	-1.8	-0.7	-0.9	2.9	2.3	-0.4	-12.0
製造業		2.3	-3.5	-2.8	1.8	-3.6	4.6	-1.7	-8.2	-2.6
非製造業(除船電)		14.3	-9.3	3.6	-5.1	2.4	-1.7	5.0	5.3	-20.2
官公需		29.7	-4.9	-10.5	25.5	4.6	87.8	-39.1	17.1	-7.2
外需		-13.4	5.8	-7.9	8.7	-13.7	9.1	2.7	-1.3	-21.6
代理店		-0.5	-4.0	-3.1	3.6	-6.1	8.1	-2.7	-3.3	-8.9

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・ 令和2年3月実績：機械受注統計調査報告  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2004juchu.html>
- ・ (ご参考) 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連 TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数調査 結果の概要【2020年4月分】  
 (経済産業省 2020年6月12日発表 より抜粋)

<概況>

- ・ 製造工業生産能力指数は、97.7で前月比-0.5%の低下。  
 低下業種： 電子部品・デバイス工業同-4.1%、電気・情報通信機械工業同-1.3%、  
 鉄鋼・非鉄金属工業同-1.9%等  
 上昇業種： 汎用・業務用機械工業同0.6%、輸送機械工業同0.1%、  
 その他工業同0.2%
- ・ 製造工業稼働率指数は、79.9で前月比-13.3%の低下。  
 低下業種： 輸送機械工業同-36.4%、電子部品・デバイス工業同-11.0%、その他工業同-14.7%等すべての業種

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
	97.7	-0.5	-0.1

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
	79.9	-13.3	79.8	-21.5

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	86.4 (87.1)	-9.8	85.8 (86.5)	-15.0
出荷 (速報値)	84.3 (85.0)	-9.5	82.6 (83.3)	-16.6
在庫 (速報値)	106.1 (106.1)	-0.3	103.9 (103.9)	2.7
在庫率 (速報値)	138.5 (137.4)	13.6	135.9 (134.8)	29.2

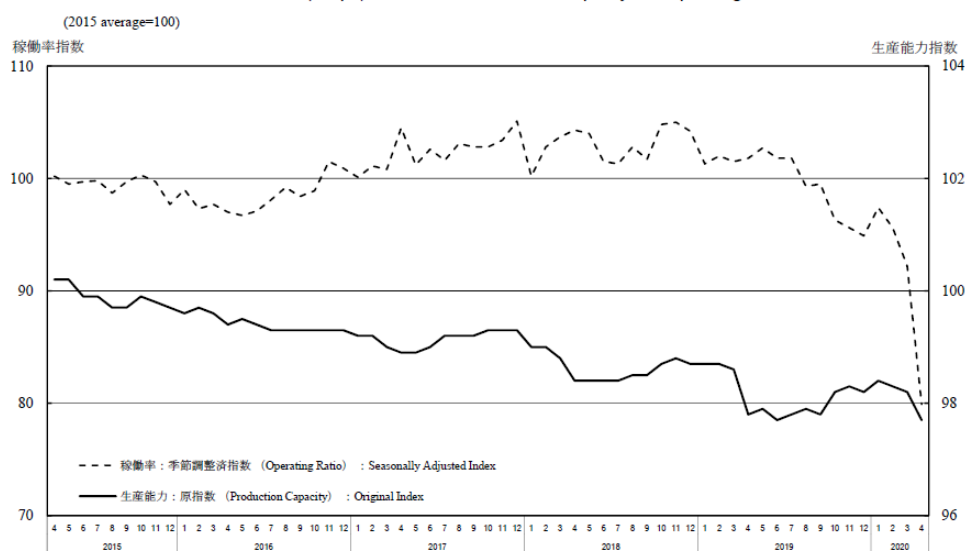
## <2020年4月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表  
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index,2015= 100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio			Year and Month	
	原指数 Original Index		季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index	原指数 Original Index				
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year			
2017年	99.3						C.Y. 2017	
2018	98.7						C.Y. 2018	
2019	98.2						C.Y. 2019	
2017年度	98.8						F.Y. 2017	
2018	98.6						F.Y. 2018	
2019	98.2						F.Y. 2019	
2019年 I期	98.6	-0.1	-0.2	101.6	-3.0	101.6	-2.1	Q1 2019
II期	97.7	-0.9	-0.7	102.1	0.5	101.2	-0.6	Q2
III期	97.8	0.1	-0.7	100.2	-1.9	100.5	-0.5	Q3
IV期	98.2	0.4	-0.5	95.6	-4.6	96.3	-8.9	Q4
2020年 I期	98.2	0.0	-0.4	95.1	-0.5	95.2	-6.3	Q1 2020
2019年 2月	98.7	0.0	-0.3	102.0	0.7	99.9	-1.7	Feb. 2019
3月	98.6	-0.1	-0.2	101.5	-0.5	107.6	-4.1	Mar.
4月	97.8	-0.8	-0.6	101.8	0.3	101.7	-0.4	Apr.
5月	97.9	0.1	-0.5	102.7	0.9	99.9	0.1	May
6月	97.7	-0.2	-0.7	101.8	-0.9	102.0	-1.4	Jun.
7月	97.8	0.1	-0.6	101.8	0.0	107.9	2.8	Jul.
8月	97.9	0.1	-0.6	99.3	-2.5	92.3	-4.9	Aug.
9月	97.8	-0.1	-0.7	99.5	0.2	101.3	0.4	Sep.
10月	98.2	0.4	-0.5	96.3	-3.2	98.5	-8.7	Oct.
11月	98.3	0.1	-0.5	95.6	-0.7	96.1	-10.4	Nov.
12月	98.2	-0.1	-0.5	94.9	-0.7	94.4	-7.5	Dec.
2020年 1月	98.4	0.2	-0.3	97.4	2.6	93.6	-3.9	Jan. 2020
2月	98.3	-0.1	-0.4	95.6	-1.8	92.6	-7.3	Feb.
3月	98.2	-0.1	-0.4	92.2	-3.6	99.4	-7.6	Mar.
4月	97.7	-0.5	-0.1	79.9	-13.3	79.8	-21.5	Apr.

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)  
Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

- ・ 2020年4月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向 (pdf) 資料  
[https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202004nj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202004nj.pdf)
- ・ 鉱工業指数関連 結果の概要ページ：  
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2020年5月29日発表より抜粋)

#### 【2020年3月動向概況】

- ・ 2020年3月のグローバル出荷額は3,096億円、前年比97.4%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品(前年比100.8% 1,391億円)、接続部品(同89.0% 754億円)、変換部品(同90.8% 477億円)、その他の電子部品(同111.2% 472億円)となった。
- ・ 地域別出荷は日本(前年比94.1% 727億円)、米州(同79.5% 293億円)、欧州(同80.6% 295億円)、中国(同113.5% 1,165億円)、アジア・その他(同95.7% 621億円)となった

#### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2020.05.29 発表: 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2019年度						2019年度累計	
	1月		2月		3月		4月-3月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	2,890	91	2,756	101	3,096	97	37,079	94
(日本)	667	94	632	87	727	94	8,577	91
品目別								
受動部品	1,226	85	1,188	100	1,391	100	15,704	93
コンデンサ	879	83	859	98	1,015	100	11,250	92
抵抗器	114	87	111	94	119	91	1,434	88
トランス	32	85	29	84	32	84	401	86
インダクタ	194	91	183	116	219	111	2,574	100
その他	5	174	4	148	4	137	43	116
接続部品	760	98	683	95	754	89	9,712	95
スイッチ	328	92	278	86	291	70	4,181	96
コネクタ	428	103	402	103	460	107	5,488	95
その他	2	66	2	72	2	63	41	72
変換部品	480	90	406	88	477	90	6,343	91
音響部品	106	71	89	76	98	81	1,359	79
センサ	193	100	176	98	197	99	2,390	96
アクチュエータ	180	94	139	87	181	88	2,593	95
その他の電子部品	422	98	478	133	472	111	5,319	100
電源部品	160	97	149	101	174	96	1,958	92
高周波部品	261	98	329	156	298	122	3,361	106

#### 【地域別出荷金額】

«2019年度»

地域別出荷金額 (億円)	2019年度						2019年度累計	
	1月		2月		3月		4月-3月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	2,890	91	2,756	101	3,096	97	37,079	94
日本	667	94	632	87	727	94	8,577	91
米州	320	84	291	92	293	79	3,787	91
欧州	339	87	309	87	295	80	3,758	92
中国	925	91	908	116	1,165	113	13,202	97
アジア他	642	92	620	114	621	95	7,809	96

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

[https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上